

発行所
房州日日新聞社
 〒254-0591 館山市北条2166-4
 電話 0470-25-6557 寄
 〒95 0470-25-6551 (編集課)
 〒95 0470-25-5571 (営業課)
 印刷工場 〒254-0257 船山町藤巻 1112-1
 電話 〒95 04 2192-8404

房日新聞

THE BONICHI SHIMBUN

第17212号 (発行所 〒254-0257 船山町藤巻 1112-1)

2月19日 金曜日

平成22年(2010年) 正月(1月) 第5日(平日)

北の風 日中西の風
 読者サービス部
 〒95 0470-25-5571 (編集課)
 〒95 0470-25-5571 (営業課)
 〒95 0470-25-5571 (編集課)
 〒95 0470-25-5571 (営業課)

房日新聞

「富崎を元気に」まちづくり講座

館山

聖徳大の福留教授招き

館山市のNPO法人、安房文化遺産フォーラム(愛沢伸雄代表)は13、14の両日、富崎地区公民館で「元気なまちづくり市民講座」を開いた。地域住民ら、のべ約90人が



グループ討議を行う参加者—富崎公民館で

参加。生涯学習まちづくたほか、グループ討議でりブームの「仕掛け人」今後のまちづくりに向けとして知られる福留強・た具体的なアイデアを出聖徳大教授の講演を聞き合った。

福留教授は東京都立川市の大山自治会や、鹿児島県志布志市の市民大学の活動など、各地の地域活性化の成功事例を紹介。少子高齢社会の中で、いくつになっても地域のために自らの力を発揮していく「創年」という考え方を提唱し、「実年齢の7掛けが自分の年齢と想って、創造的に生きていこう」と呼びかけた。

グループ討議では、「富崎地区の路地に愛称をつけてはどうか」という案にはほぼ全員が賛同。同地区コミュニティ委員会から住民に呼びかけていくことになった。

同フォーラムの愛沢代表は「青木繁の没後100年にあたる来年に

向けて、地元の人びとや全国的な美術関係者とも「記念事業に取り組んでいきたい」と語った。